



第38回牛乳・乳製品利用料理コンクール広島県大会

最優秀賞 すえく に まゆ 末國茉優さん (作品は、先月号(No.283)の32頁に掲載)



最優秀賞に輝いた末國
茉優さん

広島県牛乳普及協会(会長 岩竹重城)は、第38回牛乳・乳製品利用料理コンクール広島県大会を開催し、県内高等学校・一般から応募のあった99点の作品から、9月27日に行った書類審査会を得て選考された10名が自慢のアイデア牛乳料理で腕を振るった。

開会挨拶では、岩竹重城会長から「乳和食」について触れられ、『だしは牛乳、おいしく減塩「乳和食」』のキャッチコピーとともに、牛乳を和食に使うことで減塩効果があり、健康にも良いという内容を紹介した。審査員は、小出料理学園代表取締役 小出義明先生を委員長とし、広島文化学園大学教授 前田ひろみ先生、(公社)広島消費者協会会長 徳田洋子先生、広島県畜産課 小川寛大参事、広島県牛乳普及協会からの岩竹重城会長、鎌田直樹副会長、尺司守夫副会長が厳正な審査にあたった。

最優秀賞には、広島県立総合技術高等学校の末國茉優(すえくにまゆ)さんの作品「しろいかれーらいす」が選ばれ、続く優秀賞には、広島県立安芸南高等学校の福光未羽(ふくみつみう)さんの作品「真っ白な餅にカッターチーズ!〜はちみつレモン風味〜」が選ばれた。2名は11月11日(土)に岡山県で開催の中国大会に広島県代表として出場され、末國さんは優秀賞、福光さんは優良賞を受賞された。



(最優秀賞の末國茉優さん(中央)に表彰状を授与する岩竹会長(右))

畜産協会からのお知らせ

12/19 酪農経営支援研修会

廣大・磯部准教授「乳防炎防除管理」



一般社団法人広島県畜産協会は、新規就農者の就農定着と後継者等の生産技術向上を目的に次の研修会を開催します。ぜひご参加ください。

- 日時 平成29年12月19日(火)午後1時～午後4時
- 場所 三次市十日市南1丁目5-5 グランラッセー三次

■研修内容

第1部(午後1時～午後3時)
 (演題)「乳房炎の防除管理について」(仮称)
 (講師)広島大学大学院生物圏科学研究科
 家畜生体機構学研究室
 准教授 磯部 直樹氏

第2部(午後3時～午後3時30分)
 (講師)合同会社久井高原牧場 新舎 和久氏
 (演題)「雌雄判別精液、受精卵移植を活用した酪農経営について」(仮称)

簿記相談会(午後3時30分～午後4時)

※畜産協会職員が相談に応じます。

■参集範囲

県内酪農家、県、市町、JA、関係団体等の担当者

■申込・連絡先

一般社団法人広島県畜産協会 経営指導部
 TEL 082-244-1783 FAX 082-504-0484
 e-mail e-jan@lin34.jp

磯部 直樹氏

・大学では乳房炎(乳腺・乳房の免疫機能)や家畜の卵胞嚢腫等を研究。特に乳房炎については、乳房で発現する抗菌因子の機能について明らかにし、それをを用いた乳房炎防除への応用や、乳房炎が繁殖機能に及ぼす影響について研究。